



2021年3月期第3四半期

決算説明資料

本資料は、当社の2021年3月期第3四半期における連結業績の概要及び今後の経営展望に関する情報の提供を目的としたものであり、当社の発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料には当社の将来に関する記述が含まれております。当該記述は当社の将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。従って、将来の業績に関しては、当社の経営環境の変化等により変更を余儀なくされることがあることにご留意下さい。

商号	澤田ホールディングス株式会社 (Sawada Holdings Co., Ltd.)
代表者	代表取締役社長 上原悦人
所在地	東京都新宿区西新宿六丁目8番1号 住友不動産新宿オークタワー27階
設立	1958年(昭和33年)1月21日
資本金	12,223,312,500円
グループ会社数	〔連結子会社〕5社 〔持分法適用関連会社〕2社
従業員数	〔グループ全体〕5,793名 (当社単体) 7名 (連結子会社) 5,352名 (持分法適用関連会社) 434名

【株式情報】

上場市場	東京証券取引所 JASDAQ市場
証券コード	8699
発行済株式総数	40,953,500株
時価総額	38,496,290,000円

2020年12月末時点

1958年 1月	当社(協立証券(株))設立
1999年 3月	H.I.S.の創業者、澤田秀雄が当社代表取締役社長に就任 (2016年11月より代表取締役会長に就任)
1999年 4月	エイチ・アイ・エス協立証券(株)に商号変更
2001年 4月	エイチ・エス証券(株)に商号変更
2004年10月	大阪証券取引所ヘラクレスに株式上場 ※ 現在は東京証券取引所JASDAQ市場に株式上場(証券コード:8699)
2006年 9月	エイチ・エス証券分割準備(株)(当社の証券事業の受皿会社)を設立
2007年 4月	澤田ホールディングス(株)に商号変更し、持株会社体制に移行 エイチ・エス証券分割準備(株)はエイチ・エス証券(株)に商号変更し、当社の証券事業を承継

〔連結子会社〕5社 〔持分法適用関連会社〕2社

《主要関係会社》

● 連結子会社 ▲ 持分法適用関連会社

2020年12月末時点

主な業種	会社名	議決権比率
銀行	● ハーン銀行 (Khan Bank LLC)	60.00%
	● キルギスコメルツ銀行(OJSC Kyrgyzkommertsbank)	52.90%
	▲ ソリッド銀行 (JSC Solid Bank)	44.31%
証券	● エイチ・エス証券株式会社	100.00%
債権管理回収	● エイチ・エス債権回収株式会社	100.00%
外国為替保証金取引	▲ 株式会社外為どっとコム	40.19%

※ ソリッド銀行は、2020年5月26日付で、第三者割当増資を実施しており、その結果、当社の議決権比率が減少しております。(45.42% → 44.31%)

※ iXITは、2020年8月1日付で、当社が保有するその全株式を譲渡しており、その結果、2021年3月期第2四半期連結累計期間より、当社の連結子会社から除外しております。

※ ハーン銀行は、2020年9月28日付で、IFC(国際金融公社)より自己株式を取得しており、その結果、当社の議決権比率が増加しております。(54.41% → 60.00%)

《主要関係会社の設立又は当社グループ加入の経緯》

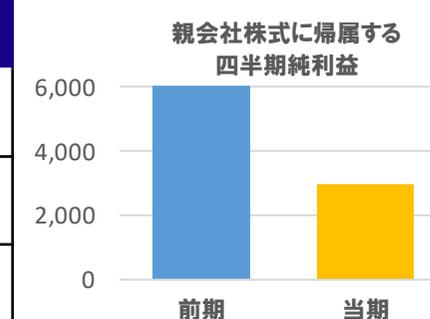
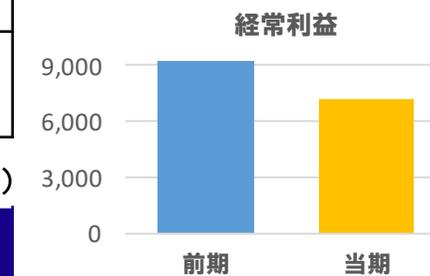
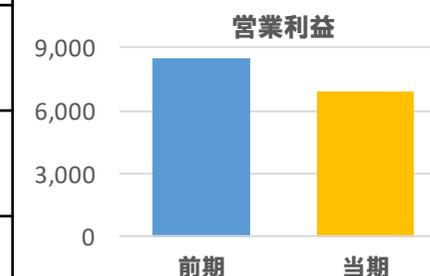
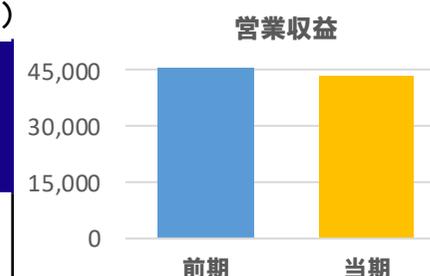
● 連結子会社 ▲ 持分法適用関連会社

会社名	沿革（設立又は当社グループ加入の経緯）
● ハーン銀行（Khan Bank LLC）	2003年 国際競争入札により株式を取得
● キルギスコメルツ銀行（OJSC Kyrgyzkommertsbank）	2017年 株式を取得
▲ ソリッド銀行（JSC Solid Bank）	2012年 第三者割当増資により株式を取得
● エイチ・エス証券株式会社	2006年 設立（2007年 当社の証券事業を承継）
● エイチ・エス債権回収株式会社	2006年 設立
▲ 株式会社外為どっとコム	2005年 株式を取得

連結業績

(単位:百万円)

科目 \ 期間	2020年3月期 第3四半期 (2019年4月～12月)	2021年3月期 第3四半期 (2020年4月～12月)	前年同期比
営業収益	45,691	43,198	94.5%
純営業収益	21,952	21,404	97.5%
営業利益	8,519	6,905	81.1%
経常利益	9,179	7,102	77.4%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	6,149	2,976	48.4%



(単位:百万円)

科目 \ 期間	2020年3月期 (2020年3月末時点)	2021年3月期 第3四半期 (2020年12月末時点)	前期末比
総資産	469,659	479,266	102.0%
純資産	80,613	74,539	92.5%
現預金	108,380	111,064	102.5%

連結業績の主な増減要因

■【銀行関連事業】 ハーン銀行は減収減益

モンゴル最大のリテール銀行であるハーン銀行(Khan Bank LLC)の業績が低迷したため、銀行関連事業の営業収益・営業利益は前年同期比で減少。

ハーン銀行の減益の要因は、2020年1月に施行された年金担保融資に関する法律の影響、および新型コロナウイルスの拡大による景気悪化の影響。

営業収益 370億34百万円（前年同期比 22億74百万円減）

営業利益 62億54百万円（前年同期比 20億30百万円減）

■【証券関連事業】 エイチ・エス証券(株)は増収増益

エイチ・エス証券は、マーケット環境が改善し個人投資家の売買が増加したこと、また、米国株式取引が順調に増加したことにより、証券関連事業の営業収益・営業利益は前年同期比で増加。

営業収益 27億47百万円（前年同期比 2億46百万円増）

営業利益 3億38百万円（前年同期比 2億43百万円増）

■【債権管理回収関連事業】 エイチ・エス債権回収(株)は増収増益

エイチ・エス債権回収は、大型債権群からの回収等が堅調に推移しており、債権管理回収関連事業の営業収益・営業利益は前年同期比で増加。

営業収益 32億63百万円（前年同期比 2億 1百万円増）

営業利益 3億17百万円（前年同期比 1億81百万円増）

セグメント別業績

2021年3月期第3四半期 (2020年4月1日～2020年12月31日)

(単位:百万円)

科目 \ セグメント	銀行 関連事業	証券 関連事業	債権管理回収 関連事業	IT 関連事業	その他事業	連結
営業収益	37,034	2,747	3,263	217	206	43,198
営業収益の内訳 (外部/内部)	外 37,034 内 -	外 2,681 内 65	外 3,263 内 -	外 215 内 1	外 2 内 203	-
営業利益	6,254	338	317	△47	△30	6,905
経常利益	6,254	362	223	△49	399	7,102

2020年3月期第3四半期 (2019年4月1日～2019年12月31日)

(単位:百万円)

科目 \ セグメント	銀行 関連事業	証券 関連事業	債権管理回収 関連事業	IT 関連事業	その他事業	連結
営業収益	39,308	2,500	3,061	880	192	45,691
営業収益の内訳 (外部/内部)	外 39,308 内 -	外 2,443 内 56	外 3,061 内 -	外 874 内 6	外 3 内 189	-
営業利益	8,284	94	136	△22	△82	8,519
経常利益	8,284	127	41	△28	803	9,179

※ 営業収益の内訳 (外:外部顧客に対する営業収益/内:セグメント間の内部収益又は振替高)

※ 連結は、セグメント間の内部収益を控除後の数値を表示。2021年3月期のIT関連事業の業績は第1四半期のみのものとなります。

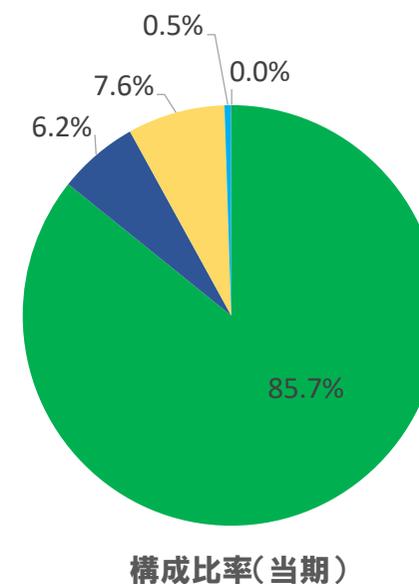
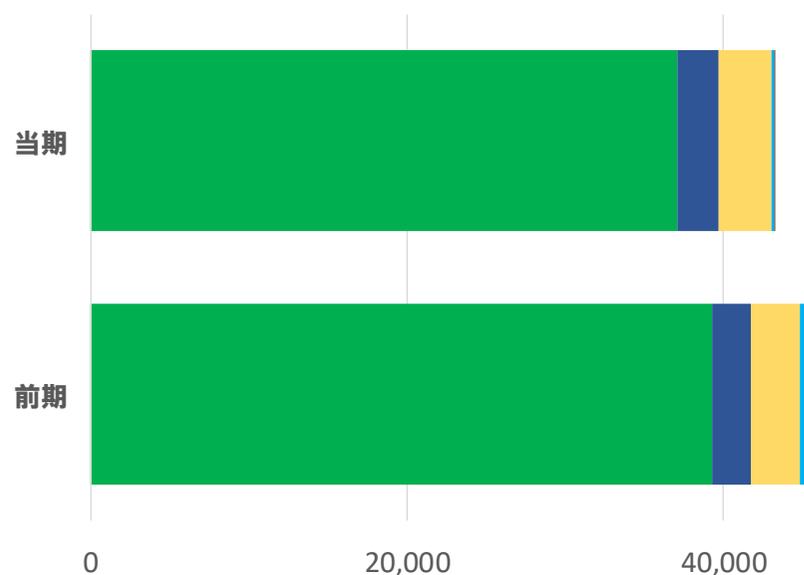
営業収益の構成

セグメント別営業収益（外部顧客に対する営業収益）

（単位：百万円）

セグメント	期間	2020年3月期第3四半期 (2019年4月～12月)	2021年3月期第3四半期 (2020年4月～12月)	前年同期比
銀行関連事業		39,308	37,034	94.2%
証券関連事業		2,443	2,681	109.7%
債権管理回収関連事業		3,061	3,263	106.6%
IT関連事業		874	215	24.7%
その他事業		3	2	92.2%
合計		45,691	43,198	94.5%

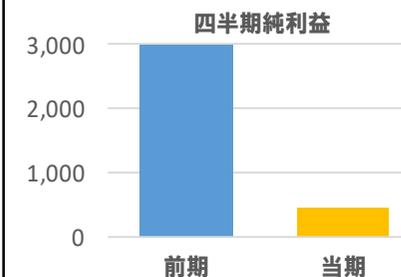
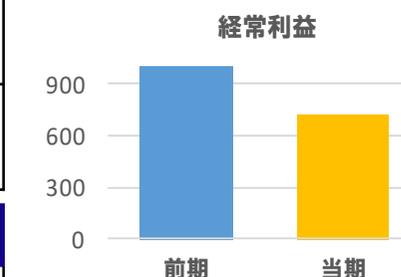
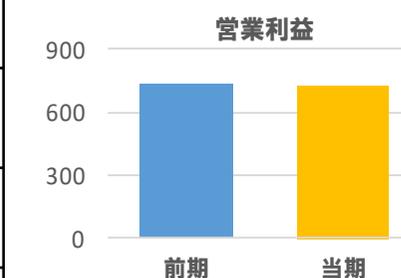
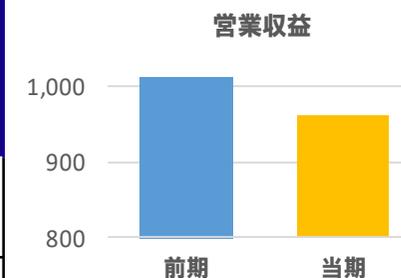
■ 銀行関連事業 ■ 証券関連事業 ■ 債権管理回収関連事業 ■ IT関連事業 ■ その他事業



澤田ホールディングス(株)【個別業績】

(単位:百万円)

科目 \ 期間	2020年3月期 第3四半期 (2019年4月～12月)	2021年3月期 第3四半期 (2020年4月～12月)	前年同期比
営業収益	1,011	962	95.2%
営業利益	737	725	98.4%
経常利益	1,004	724	72.1%
四半期純利益	2,980	445	15.0%
総資産 【前期末 / 当四半期末】	27,581	27,414	99.4%
純資産 【前期末 / 当四半期末】	27,330	27,348	100.1%



主な増減要因

- 関係会社からの配当金や経営管理料が減少したことに伴い、前年同期比で減収減益。
(ただし、関係会社配当金・経営管理料は内部取引のため、連結業績には影響しない)
- 為替差損の影響により、経常利益は前年同期比で減少。
- 前期は、(株)廣濟堂や九州産業交通ホールディングス(株)等の投資有価証券売却益2,407百万円を特別利益に計上していたため、当期純利益は大幅に減少。

ハーン銀行(Khan Bank LLC)

(単位:百万MNT)

商号	ハーン銀行(Khan Bank LLC)	科目	期間	2019年12月期 第3四半期 (2019年1月～9月)	2020年12月期 第3四半期 (2020年1月～9月)	前年同期比
所在地	モンゴル国 ウランバートル	Interest income (資金運用収益)		864,554	837,095	96.8%
資本金	58,071百万MNT (MNT:トゥグルグ)	Net interest income (純資金運用収益)		315,897	307,906	97.5%
議決権の 所有割合	60.00%	Profit for the period (四半期純利益)		138,099	125,334	90.8%
主要事業	銀行業	Total assets (総資産) 【前期末/当四半期末】		10,211,281	11,095,741	108.7%

会社プロフィール

- ① モンゴル国内に500店舗を超える支店ネットワークを有するモンゴル最大のリテール銀行
- ② スマートフォンアプリや非接触カードの提供等のE-バンキングサービスの他、預入れができる(紙幣還流式)ATMの設置にも注力

概況

- ハーン銀行の業績(現地通貨ベース)は、資金運用収益は減少したものの、預金残高、融資残高は増加となった。
- 新型コロナウイルスの影響による中国への資源輸出制限等によりGDP(1-9月)は前年同期比7.3%減少し、モンゴル経済は停滞基調。
- E-バンキングサービスの推進、紙幣還流式ATMの増設等により支店の混雑は大幅に緩和。また、デビットカード・クレジットカードの新規発行・更新手続きの見直しによる利便性の向上、口座情報や証明書の発行等の銀行サービスを24時間365日受けることができるKIOSK端末の設置拡大など、顧客サービスの更なる向上に注力。

	2019年9月末	2020年9月末	前年同期比	【為替レート】 2020年9月末 1円 = 27.03MNT 2020年1月～9月平均 1円 = 26.09MNT
Customer accounts (預金残高) (百万MNT)	7,191,820	8,620,542	119.9%	
Loans and advances to customers (net) (融資残高) (百万MNT)	4,681,457	4,862,060	103.9%	

(単位:百万円)

商号	エイチ・エス証券株式会社	科目 \ 期間	2020年3月期 第3四半期 (2019年4月~12月)	2021年3月期 第3四半期 (2020年4月~12月)	前年同期比
所在地	東京都新宿区	営業収益	2,500	2,747	109.9%
資本金	3,000百万円	営業利益	94	338	356.5%
議決権の 所有割合	100.00%	経常利益	127	362	283.6%
主要事業	第一種金融商品取引業(証券業)	四半期純利益	96	230	239.5%
		総資産 【前期末/当四半期末】	34,301	42,911	125.1%

会社プロフィール

- ① 当社の前身であり、国内外の株式・債券・投資信託等を幅広く取り扱うとともに、投資銀行部門も有する総合証券会社
- ② 2007年、証券会社であった当社が持株会社体制に移行する際、会社分割により同社に証券事業等を承継

概況

- 新型コロナウイルス感染症の影響で停滞していたマーケット環境が改善しており、個人投資家の売買が回復した。また、米国株式取引が順調に増加したことにより増収増益。
- 引き続き、新興国通貨建て債券や米国株式を中心とした外国株式の販売に注力。また、外部環境に左右されない安定的収益の確保や、フィデューシャリー・デューティー(顧客本位の業務運営)の確立、TOKYO Pro MarketでのJ-adviser業務をはじめとする投資銀行業務を強化。
- 引受業務では、新規公開(IPO)8社の幹事に参入。

	2019年12月末	2020年12月末	前年同期比
預り資産残高 (百万円)	358,816	302,778	84.4%

エイチ・エス債権回収(株)

(単位:百万円)

商号	エイチ・エス債権回収株式会社	<table border="1"> <thead> <tr> <th>科目</th> <th>2020年3月期 第3四半期 (2019年4月~12月)</th> <th>2021年3月期 第3四半期 (2020年4月~12月)</th> <th>前年同期比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>売上高</td> <td>3,061</td> <td>3,263</td> <td>106.6%</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>136</td> <td>317</td> <td>233.1%</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>41</td> <td>223</td> <td>541.5%</td> </tr> <tr> <td>四半期純利益</td> <td>27</td> <td>152</td> <td>558.5%</td> </tr> <tr> <td>総資産 【前期末/当四半期末】</td> <td>9,239</td> <td>7,932</td> <td>85.9%</td> </tr> </tbody> </table>	科目	2020年3月期 第3四半期 (2019年4月~12月)	2021年3月期 第3四半期 (2020年4月~12月)	前年同期比	売上高	3,061	3,263	106.6%	営業利益	136	317	233.1%	経常利益	41	223	541.5%	四半期純利益	27	152	558.5%	総資産 【前期末/当四半期末】	9,239	7,932	85.9%
科目	2020年3月期 第3四半期 (2019年4月~12月)		2021年3月期 第3四半期 (2020年4月~12月)	前年同期比																						
売上高	3,061		3,263	106.6%																						
営業利益	136		317	233.1%																						
経常利益	41		223	541.5%																						
四半期純利益	27		152	558.5%																						
総資産 【前期末/当四半期末】	9,239	7,932	85.9%																							
所在地	東京都港区																									
資本金	500百万円																									
議決権の 所有割合	100.00%																									
主要事業	債権管理回収業																									

会社プロフィール

- ① 2006年に設立した債権管理回収会社(サービサー)
- ② 現在は債権管理回収業務の他、コンサルティング業務や集金代行業務を展開するなど業容を拡大

概況

- 大型債権の回収が進捗したため、売上高(債権回収高)が増加となり、さらに収益性の高い債権の回収が順調であることから、大幅な増益となった。
- 金融機関によるバルクセール(債権の一括売却)における落札価格の高騰が続く状況下において、安定的な収益を維持するため引き続き営業活動に注力し、買取債権の増加を目指す。また、スポット的な損益ではなく債権回収高を着実に積み上げていく。

	2019年12月末	2020年12月末	前年同期比
債権譲渡額を除いた買取債権の回収 (百万円)	2,228	2,740	123.0%
回収受託手数料(集金代行を含む) (百万円)	108	80	74.2%
買取債権残高 (百万円)	7,580	7,372	97.3%

(単位:百万円)

商号	株式会社外為どっとコム	科目	2020年3月期 第3四半期 (2019年4月～12月)	2021年3月期 第3四半期 (2020年4月～12月)	前年同期比
所在地	東京都港区	営業収益	5,789	5,137	88.7%
資本金	778百万円	営業利益	2,553	1,926	75.5%
議決権の 所有割合	40.19%	経常利益	2,560	1,909	74.6%
主要事業	第一種金融商品取引業 (外国為替保証金取引業)	四半期純利益	1,758	1,310	74.5%
		総資産 【前期末/当四半期末】	134,466	134,968	100.4%

会社プロフィール

- ① 業界最大級の口座数・預り資産を誇るFX取引(外国為替保証金取引)の老舗企業
- ② 2014年より主要通貨ペアにおいて業界最狭水準のスプレッド提供を開始

概況

- 顧客提示スプレッドを縮小したことで取引数量は増加したものの、収益性の低下により減収減益となった。さらに、為替相場の変動により為替差損が拡大した結果、経常利益は減少。
- 短期取引を行うヘビートレーダー層を確保しつつ、高金利通貨を中心に中長期で投資を行う顧客への訴求強化、取引ツールのバージョンアップを積極的に実施するなど、更なる顧客基盤の拡充を図る。
- マスコットキャラクターやアイドルイメージキャラクターの起用、ラジオ等による知名度向上を図り、各種キャンペーンも積極的に実施。

	2019年12月末	2020年12月末	前年同期比
口座数 (件)	504,188	524,348	104.0%
預り資産残高 (百万円)	113,697	114,871	101.0%

(単位:百万RUB)

商号	ソリッド銀行(JSC Solid Bank)	科目	期間	2019年12月期 第3四半期 (2019年1月~9月)	2020年12月期 第3四半期 (2020年1月~9月)	前年同期比
所在地	ロシア連邦 ウラジオストク	Net interest income (純資金運用収益)		114	152	133.5%
資本金	1,962百万RUB (RUB:ルーブル)	Net operating income (純業務収益)		557	563	101.0%
議決権の 所有割合	44.31%	Profit for the period (四半期純利益)		△73	△110	-
主要事業	銀行業	Total assets (総資産) 【前期末/当四半期末】		※ 10,013	8,697	86.9%

会社プロフィール

- ① ソリッド金融グループの一員で、カムチャツカ地方における最大資産規模の地場銀行であり、ロシア極東地域での事業拡大を推進
- ② 日本・ロシア合併企業の特長を活かし、両国企業のビジネスマッチングやコンサルティング業務を積極的に展開

概況

- 法人向け融資の減少と貸出金利の低下があったものの、資金運用収益は増加。また、引当金の戻入等により純業務収益も前年同期比で増加。
- ロシア経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により景気が悪化し、実質GDP(1-9月)は前年同期比で3.4%減少。また、欧米諸国による経済制裁は継続しており、中央銀行の規制強化により銀行数は減少するなど、厳しい状況が続く。
- 中堅優良企業への貸出や為替取引・貴金属取引等の非金利収入の増加に引き続き注力。また、不良債権の回収、担保物権の売却による財務状況の改善に取り組む。
(※前期末の総資産は、繰延税金資産負債を相殺したため減少しています。)

	2019年9月末	2020年9月末	前年同期比	【為替レート】 2020年9月末 1RUB = 1.33円 2020年1月~9月平均 1RUB = 1.52円
Customer accounts (預金残高) (百万RUB)	6,942	5,622	81.0%	
Loans and advances to customers (融資残高) (百万RUB)	4,872	5,011	102.8%	

キルギスコメルツ銀行(OJSC Kyrgyzkommertsbank)

(単位:百万KGS)

商号	キルギスコメルツ銀行 (OJSC Kyrgyzkommertsbank)	科目	期間	2019年12月期 第3四半期 (2019年1月~9月)	2020年12月期 第3四半期 (2020年1月~9月)	前年同期比
			Net interest income ※ (純資金運用収益)	131	186	
所在地	キルギス共和国 ビシュケク	Operating income (純業務収益)	149	208	139.5%	
資本金	1,000百万KGS (KGS:キルギスソム)	Profit for the period (四半期純利益)	△27	28	-	
議決権の 所有割合	52.90%	Total assets (総資産) 【前期末/当四半期末】	4,627	5,011	108.3%	
主要事業	銀行業					

会社プロフィール

- ① 中央アジアの新興国、キルギス共和国に本店を置く銀行
- ② 2017年6月、当社はキルギスコメルツ銀行の株式を取得し、当社グループの一員となる

概況

- 当社子会社化以降における自己資本の増強により、融資残高・預金残高は継続的に増加傾向。それに伴い、金利収入も順調に伸びており、純資金運用収益と業務収益はともに増益。
- キルギス経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により景気が悪化し、実質GDP(1-9月)は前年同期比で6.0%の減少。
- 中小企業や個人顧客への貸出し、オンラインバンキングやカード事業の強化に加え、システム強化等の全体的な合理化を図る。

※ 上表のNet interest incomeは、貸倒引当金繰入前の純資金運用収益(Net interest income before recovery of impairment losses on interest bearing assets)を表示。

	2019年9月末	2020年9月末	前年同期比
Customer accounts (預金残高) (百万KGS)	2,940	3,180	108.2%
Loans and advances to customers (融資残高) (百万KGS)	2,626	2,921	111.2%

【為替レート】
2020年9月末
1KGS = 1.33円
2020年1月~9月平均
1KGS = 1.43円

《決算期の異なる会社の取扱い》 当社の決算期(3月期)と異なる以下のグループ会社に関する取扱い

会社名	決算期	連結財務諸表における取扱い／本資料の記載
ハーン銀行 (Khan Bank LLC)	12月	<ul style="list-style-type: none"> ■ 当社の連結財務諸表の作成に当たっては、各行における第3四半期決算日(9月30日)現在の財務諸表を使用。また、連結決算日との間に生じた重要な取引は、連結上必要な調整を行う。 ■ 本資料のグループ各社の紹介ページでは、2020年1月～9月(又は9月末時点)の状況を記載(現地通貨ベース)。
キルギスコメルツ銀行 (OJSC Kyrgyzkommertsbank)		
ソリッド銀行 (JSC Solid Bank)		

《為替レート》 以下のグループ会社の財務諸表において、現地通貨を円換算する際に使用した為替レート

会社名 【現地国名】	現地通貨	2019年12月期第3四半期		2020年12月期第3四半期	
		期末レート (2019年9月末)	平均レート (2019年1月～9月)	期末レート (2020年9月末)	平均レート (2020年1月～9月)
ハーン銀行 (Khan Bank LLC) 【モンゴル国 (Mongolia)】	トゥグルグ (MNT)	1円=24.73MNT	1円=24.28MNT	1円=27.03MNT	1円=26.09MNT
キルギスコメルツ銀行 (OJSC Kyrgyzkommertsbank) 【キルギス共和国 (Kirghiz republic)】	ソム (KGS)	1KGS=1.55円	1KGS=1.57円	1KGS=1.33円	1KGS=1.43円
ソリッド銀行 (JSC Solid Bank) 【ロシア連邦 (Russian Federation)】	ルーブル (RUB)	1RUB=1.66円	1RUB=1.68円	1RUB=1.33円	1RUB=1.52円